



袋井市の教育が目指す子供の姿

夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す15歳
「自立力」と「社会力」の育成

居場所づくり

絆づくり

袋井あやぐも学園教育目標

夢を追い続ける子供の育成 ・自主(Iの力)協同(Weの力)

ボイスシャワー



主体性・自己有用感

幼小中一貫カリキュラム

聞く指導

校訓 助け合おう 精出そう 正しく進もう

学校教育目標 「自分らしさを大切にし、ともに高め合う子」
Iの力 Weの力

A

P

(1)袋井あやぐも学園の運営方針を推進

- ①「聞く指導」と「ボイスシャワー」で、**自他の自分らしさ**を認める居場所づくり
- ②学級会活動、委員会活動、異学年交流等で、**自分で判断し挑戦する場**づくり
- ③**架け橋プログラム**におけるスタートカリキュラムの実施、保幼小・小中の連携強化

(2)ともに学び、高め合う授業づくりで**学力向上**

- ①個の納得解につながる対話の場を設定し、「きき合い つながり合う授業」をつくる
- ②ICTの活用により、個別最適な学びと協働的な学びの場をつくる
- ③計画を立てて行う家庭の自主学習を充実させる

(3)子供**一人一人を大切に**した支援

- ①多様性を認め合い、生かし合う学級づくり
- ②通常の学級・特別支援学級・通級指導教室「なないろ」、外国人指導教室「ユウカリ」の連携
- ③校内教育支援センター「にこにこ」で学習保障



学びづくり部

自分から学び続ける子

心づくり部

自分も友達も大切にする子

体づくり部

元気に楽しく活動する子

- ・主体的に学び続けることができる (70%)
- ・計画を立てて家庭学習に取り組むことができる (70%)

- ・きまりの大切さを考えて生活できる (80%)
- ・友達を大切にできる言葉を使うことができる (80%)

- ・目標に向かって運動できる (75%)
- ・自分で決めた量の給食を食べることができる。 (80%)

C

刮目教育

社会に役立つ人間になることを目指し、子供自身が眼を開き、自主的に学ぶことで、ユウカリの大樹のように力強くなやかに伸びること

D

コミュニティスクール【TEAM刮目】

- ・学校運営協議会の意見を生かした学校経営
- ・地域の教育資源(人・もの・こと)を活用した教育課程
- 任意のボランティア「東小刮目サポーターズ」
- ・教育活動の情報発信 ・共創(まちづくり協議会)

学び続け、信頼される教職員【チーム袋井東】

- ・全ての子供に全ての職員で関わり、子供理解に努める
- ・個性や能力を発揮できる学校組織、関係機関や専門職との連携
- ・授業参観週間、教科担任制、学年団のメンター方式、組織対応
- ・不祥事根絶(3ゼロ+2を常に意識)

働き方改革の推進【超過勤務時間45時間未満の達成】

- ・教職員の意識改革(ワークライフバランスを意識した効率的な業務推進)
- ・業務の効率化(放課後の会議や教材研究の時間確保、会議等の時間設定、校務システムの活用)
- ・マンパワーの活用(スクールサポートスタッフや支援員、TEAM刮目(地域ボランティア)等を有効活用)